

繊維補強シート接着工法



下 地 処 理

- ・コンクリート表面の付着物、泥弱部、凸部を入念に除去する。
- ・必要に応じて不陸修正・断面修復を行う。



(サンダーケレン)



(プライマー塗布)

プライマー塗布

- ・プライマーをローラーで塗布する。
- ・硬化不良防止の為、気温5℃以下、湿度85%以上、雨天を避ける。

不 陸 修 正

- ・コンクリートの表面の気泡などをパテ材で充填し、接着面の平坦性を確保する。



(不陸修正)



(含浸剤下塗り)

含浸接着剤下塗り

- ・含浸性エポキシ樹脂接着剤をローラーで塗布する。
- ・下塗り・上塗りで含浸接着剤のm²使用量を均一に塗布する。

連続繊維シート貼付

- ・連続シートを貼付、脱泡ローラーを用いて気泡を除去する。
- ・連続シートと躯体に浮きがあると、膨れ等で強度不足を起こす。



(シート貼付)



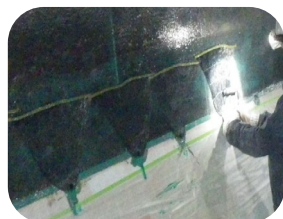
(含浸剤上塗り)

含浸接着剤上塗り

- ・再び含浸性エポキシ樹脂接着剤をローラーで塗布する。
- ・上記作業(下塗り～貼付～上塗り)を炭素繊維シートの積層分繰返し行う。
- ・保護工を行う場合は表面処理が必要になる場合もある。

シ ー ト 定 着

- ・シートは閉鎖型に巻き立て応力を躯体に伝達する。難しい場合は定着工を用いる。(鋼製プレート、SR-CF工法、波型定着工法)



(CFアンカー)